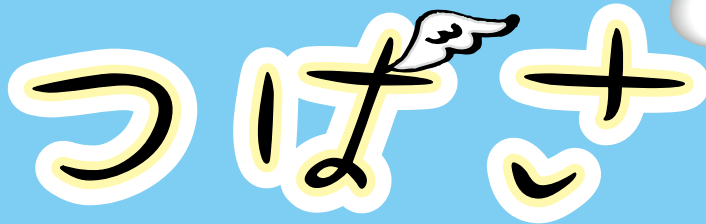


Community Medicine
— 地域医療の架け橋 —

2018年7月発行

第56号



地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



婦人科



医長
井川 佐紀

部長
辰巳 弘

月経開始後、女性には4つのライフステージ（思春期、性成熟期、更年期、老年期）があります。産婦人科では、それぞれのライフステージ特有の様々な症状や疾患に対し、女性の生涯を通して予防・診断・治療をおこないます。

産婦人科の専門領域は4大領域（周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性医学）に細分化されています。周産期では妊娠・分娩管理を、婦人科腫瘍では主に悪性腫瘍の治療を、生殖・内分泌では不妊治療（生殖医療）を専門とし、女性医学では子宮筋腫や子宮内膜症などを原因とする月経困難症（月経痛、過多月経）、月経不順、更年期障害、先天異常に対するホルモン療法や手術療法の他、骨盤臓器脱や尿失禁に対する治療（ウロギネコロジー）や性感染症の治療を専門としています。

近年、女性のライフスタイルの変化により、若年発症子宮頸がんの増加・働く女性の仕事と家庭の両立・少子化などへの対策、女性アスリートの健康管理も重要な課題であり、今まで以上に妊娠能を温存した（妊娠可能な状態を残す）治療や低侵襲（お腹の傷が小さく、体にやさしい）治療を考慮する必要があります。また他科同様、高齢化社会における閉経後女性の健康管理も重要な課題となっております。

当院では平成30年4月より婦人科常勤医が2名となったため、診療体制をリニューアルし、婦人科疾患への幅広い対応が可能となりました。平成19年より長らく入院診療を閉鎖しておりましたが、平成30年7月より手術の必要な患者様の入院受け入れを再開いたしました。また、より多くの患者様に受診いただけるよう、外来診療の予約枠・紹介枠も拡大いたしました。



当科では婦人科疾患全般に対応することを常に心掛けておりますが、診療の特色として、早期に家庭・職場へ復帰いただけるよう、女性医学や婦人科腫瘍の専門領域で腹腔鏡下手術や子宮頸部円錐切除術などの低侵襲手術を推進しております。有効性と安全性を兼ね備えた診療により、当科へのご期待にそえるべく努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

婦人科部長 辰巳 弘



近隣医療機関のご紹介

やまもと心療内科

〒651-1142 神戸市北区甲栄台4丁目1番13号 北鈴神鉄ビル2階

TEL 078-592-7718 (完全予約制)

診療科目：心療内科・精神科



山本博一 院長

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	●	●	●	×	●	◎	×	×
16:00~18:30	●	●	×	×	●	×	×	×

診療時間：平日午前9:30~12:30 平日午後16:00~18:30 ◎土曜日は午前8:30より診療いたします ※祝日は休診です



6年前に北鈴蘭台駅ビルで精神科・心療内科クリニックを開業しました山本です。北区での勤務は長く、昭和62年から平成19年まで有馬高原病院に勤務。平成7年からは12年間院長を務めました。その後5年ほど西宮の病院、クリニックで院長を務め、慣れ親しんだ北区に戻ってきました。JCHO神戸中央病院には中学・高校の同級生である松本副院長、同じく同窓の近藤副院長がおられ、心の支えになっております。両先生以外の各科の先生方にも大いにお世話になっており、この場を借りて御礼申し上げます。今春からは認知症サポート医の業務も始まりました。さらにお世話になることが増えると思います。よろしくお願いいたします。

50歳を過ぎての開業なので（来年還暦を迎える）、無理をせず、できる範囲のことを丁寧に言うよう心がけています。ただクリニックの診療以外に4か所の知的障害者施設、行政や産業医の仕事など10か所以上の嘱託業務があり、仕事に追われている毎日です。そのため初診、再診ともに完全予約制で行なっています。今後もJCHO神戸中央病院様と密に連携させていただき、地域精神科医療に少しでも貢献できればと思っております。

「地域包括ケアシステム」

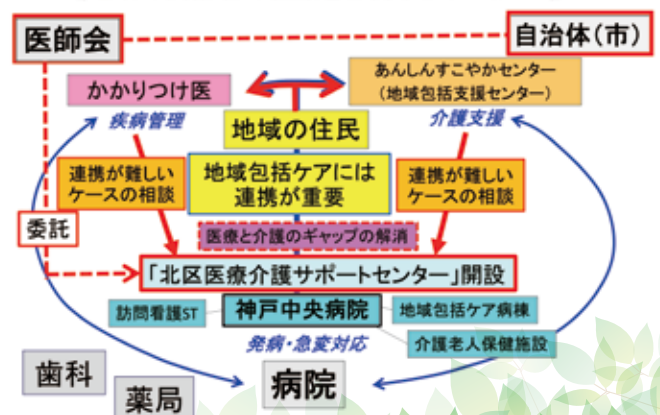
JCHO神戸中央病院と地域包括ケアのかかわりについて

4年前に当院は社会保険病院グループ（全社連）から、整理機構を介して地域医療機能推進機構（JCHO）に移管されました。そのJCHOにおいては日本の地域医療が抱える課題を解決すべく機構の使命、目標が定められています。そして、その4つの使命のうち3つまでが地域包括ケアにかかわるもので、以下のものです。「1. 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支える。2. 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図る。3. 地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化する。」

一方、多くのJCHO病院がそうであるように当院も病院としての中核事業は急性期医療であり、介護事業を含む「地域の包括ケア」をどういうスタンスで担うかは各病院で異なります。当院は中央区より北区の救急医療を支えるべく移転・設置されましたが、同時に介護老人保健施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所が併設あるいは委託されており、病院と協働しながら包括ケアを実施できる環境にあります。更に2年前に神戸市（北区医師会）から「在宅医療・介護連携支援センター（医療介護サポートセンター）」が委託されました。これは地域医療の現場を担うスタッフからの医療・介護連携にかかわる相談への対応と医療・介護スタッフへの研修および市民の啓発という名実ともに「地域包括ケアの要」ともいえる事業であり、今後も急性期医療とともに地域医療を支える軸として維持・展開してゆくべきかと考えられます。

副院長 地域医療推進部長 松本 圭吾

【地域の高齢者の健康をどう支えていくか？】

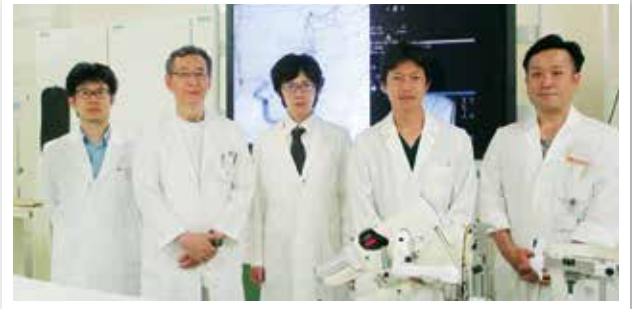


診療科ニュース 平成30年夏版

左から

永井利樹医員・松本圭吾部長・中正貴之医員・
桑山一行医長・古野優一医長

脳神経外科



職名	名前	卒業大学・年度	得意分野	取得資格(専門医など)	好きな言葉
副院長 ／ 部長	松本 圭吾	京都府立医大 昭和61年	脳神経外科一般 脳血管障害 神経機能疾患 (脳卒中後遺症)	脳神経外科学会指導医・専門医 脳神経血管内治療学会指導医・専門医 脳卒中の外科学会技術指導医	一以貫之
医 長	桑山 一行	徳島大学 平成10年卒	脳神経外科一般 脳血管障害	脳神経外科学会指導医・専門医 脳神経血管内治療学会専門医	十年一剣
医 長	古野 優一	京都府立医大 平成15年卒	脳神経外科一般 脳腫瘍 下垂体疾患	脳神経外科学会指導医・専門医 神経内視鏡学会技術認定医 がん治療認定医機構認定医	熟慮断行
専 攻 医	中正 貴之	京都府立医大 平成28年卒	脳神経外科一般		山紫水明

脳神経外科の特色

JCHO神戸中央病院 脳神経外科は、地域に根差すかたちで、脳血管障害を中心に脳腫瘍、頭部外傷など脳神経疾患に対する総合的診療を行っています。脳神経外科の具体的な治療プロセスとしては、病態評価と全身管理を基礎に顕微鏡手術、血管内治療（カテーテル治療）、放射線治療を組み合わせで計画・実施します。特に脳血管障害の治療においては血管内治療の進歩が著しく、顕微鏡手術との使い分けが重要となってきます。当科においては、両方の治療に通じる術者がおり、利点を活かすかたちでの治療を行っております。

1. 急性期脳卒中診療：神経内科とともに24時間体制で脳卒中受け入れを行っております。最近、t-PA治療で溶けなかった脳主幹動脈閉塞に対してカテーテルによる血栓除去が有効であることが示され、当院でも積極的に取り組んでおり成果を上げています（図1）。また、くも膜下出血、脳出血に対しても、急性期にコイル塞栓術、クリッピングや内視鏡的血腫除去を行い患者さんの社会復帰に寄与しています。入院中は急性期よりリハビリを行うことで後遺症の軽減に努めています。



図1 脳血栓回収の仕組み(左)と実際にステントで回収された血栓(右)

2. 脳腫瘍治療：一般病院としては早くからナビゲーションシステムを導入し、脳腫瘍に対して精密な手術を行ってきましたが、このたび内視鏡に熟達したスタッフの赴任に伴い脳内視鏡システムを導入し、更に低侵襲で安全な手術が行えるようになりました（図2）。

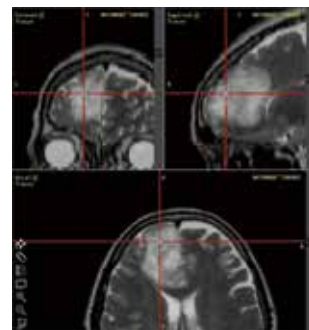


図2 ナビゲーションシステム(左2枚)と脳内視鏡システム(右)

3. 脳卒中予防・後遺症治療：無症状、軽症で見

つかった脳動脈瘤、脳動脈狭窄など脳血管病変に対しては、データに基づいて個々の患者さんにとってより良い選択肢（内科的治療、手術的治療）を提示しております。また、脳卒中後遺症のなかで、筋痙攣、中枢性疼痛に対しては、リハビリテーション科と組んでボトックス治療、脊髄硬膜外刺激療法を行っており、これらでお悩みの方はご相談ください。

部長より一言

脳に関して気になる症状がありましたらご相談ください。初診にはかかりつけの先生の紹介状があればスムーズです。



診療科ニュース 平成30年夏版

後列(左から)

曾我医長、水谷医員、藤田医員、
西尾医長、山崎研修医

前列(左から)

小黒付属健康管理センター長、藤山部長、
中川副院長、高乳腺外科部長



職 名	名 前	卒業大学・年度	得意分野	取得資格(専門医など)	好きな言葉
副 院 長 / 統括診療部長	中川 登	鹿児島大学 昭和 56 年卒	消化器外科(胃外科)	医学博士、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本救急医学会救急科専門医、京都府立医科大学臨床教授	一期一会
附属健康管理 センター長	小黒 厚	京都府立医科大学 昭和 60 年卒	消化器外科	医学博士、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚労省卒後研修指導認定医、ICD認定医、検診マンモグラフィ読影認定医	損取不捨
外科診療部長	藤山 准真	近畿大学 平成 5 年卒	消化器外科	医学博士、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、NST認定医	治にいて乱を忘れず
乳腺外科部長	高 利守	京都府立医科大学 平成 6 年卒	乳腺外科	医学博士、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会・乳腺専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医	人間万事塞翁が馬
外 科 医 長	西尾 実	山形大学 平成 12 年卒	消化器・乳腺・内視鏡外科	医学博士、日本外科学会認定医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医	すべては患者様のために
外 科 医 長	曾我 耕次	弘前大学 平成 12 年卒	腹腔鏡手術	医学博士、日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ICD認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医	困難の中に機会がある
外 科 医 員	藤田 悠司	京都府立医科大学 平成 21 年卒	消化器外科	医学博士 日本外科学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医	誠心誠意
外 科 医 員	水谷 融	東海大学 平成 22 年卒	消化器外科	日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医	日々精進

外科の特色

胃 癌: 早期癌は腹腔鏡手術で、小さな傷で体に優しい手術、進行癌はしっかりとリンパ節郭清をし、術後抗癌剤を使用して治療率が上がるようになりました。

大 腸 癌: ほとんどが腹腔鏡手術で行われ、肛門に近い癌でも可能な限り吻合して肛門温存に努め、永久人工肛門を回避しております。

肝胆膵癌: 3D画像の進歩による正確な診断、超音波切開凝固装置などの手術器具の更なる改良により、更なる安全な根治手術が可能になりました。

食 道 癌: 開胸せずに縦隔鏡で正確な手術ができるようになりました。

乳 癌: 最新のマンモグラフィー装置を導入し、小さな癌も正確に診断できるようになりました。乳房切除後の乳房再建を形成外科医とともに、良好な結果を得ております。

新たな抗癌剤の開発により、切除不能の進行癌が、抗癌剤治療で切除可能になる患者さんもおられ、さらに術後抗癌剤治療で治療率が上がるようになりました。

胆石、虫垂炎、ヘルニアなど、がん以外の手術も腹腔鏡手術を行い、小さな創と低侵襲の効果が得られております。



直腸癌の人工肛門造設・開腹手術



人工肛門回避の腹腔鏡手術



肝癌の3D画像

消化器の病気で手術が必要と言われたら、まず外科外来を受診してください。

乳房のしこりに気付いた、乳癌検診で精密検査が必要と言われたら、まず乳腺外科外来を受診してください。

北区在住の皆様の消化器・乳腺の手術は私達が責任を持って引き受けます。まずは、外来受診、よろしく御願い申し上げます。

部長より一言

「断らない、待たさない、絶対あきらめない、困った時に頼りになる消化器・乳腺外科」を目指して努力しております。

第13回 JCHO神戸中央病院 市民医療セミナー開催の様子



心不全と心筋梗塞の治療

循環器内科・心臓血管治療センター長 馬崎 徹



高齢者人口は増加傾向にあり、心疾患による入院や死亡率も増加しています。心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気で、診断には胸部レントゲン検査と血液検査のBNPが有用です。心不全の原因は様々ですが、原因のうち約50%が狭心症や心筋梗塞だと言われています。心不全の治療では、利尿薬などで症状を治し、原因を治し、いい状態を維持することを目標にします。再増悪を防ぐためには、塩分制限を守り心身ストレスを避け、薬をきちんと内服することが大事です。狭心症は、冠動脈が動脈硬化や痙攣により狭くなり短時間の胸痛を起こす病気です。心筋梗塞は、冠動脈が血栓で詰まることで心臓の筋肉が壊死していく病気で、通常15分以上、胸の強い痛みや締めつけ感が続きます。治療は再灌流療法と呼ばれ、通常は病変のある血管に治療用の細い管（カテーテル）を入れて血栓を吸引し、風船（バルーン）で拡げ、金網の筒（ステント）を置いて血液の流れをよくします。急性心筋梗塞は現在でも20%以上の死亡率がありますが、早期に病院で治療を受ければ死亡率は10%を下回ります。何よりも大事なのは、禁煙をはじめとした生活習慣の改善により発症を予防することです。

下肢閉塞性動脈硬化症：足の動脈硬化のお話

循環器内科医長 下田 義晃



下肢閉塞性動脈硬化症は、加齢や高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙が原因で、下肢動脈に動脈硬化を来し、足に様々な症状を呈する病気です。症状の程度は幅広く、軽度：足の冷感、しびれ、中等度：間欠性跛行（歩くと足が痛くなる、だるくなる、休むと改善する）、高度：安静時の下肢痛、重度：足の潰瘍・壊死に至ることもあります。

足のしびれや間欠性跛行は脊柱管狭窄症でも出現することがあり、診察、検査による鑑別が必要です。検査で一番簡便なものはABIという検査で、ABI値が0.9以下だと下肢閉塞性動脈硬化症の疑いが強くなり、精密検査を進めます。

下肢閉塞性動脈硬化症の患者さんは、他の動脈硬化疾患を併発することが多く、症状がなくても冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞）、脳血管疾患（脳梗塞、一過性脳虚血発作）の検査をする必要があります。

治療の基本は生活習慣の改善や運動、特に歩くことが重要です。重症になると、基本の治療に加え、薬物治療、カテーテル治療、バイパス手術を行なうことになります。

足のしびれ、歩くと足がだるいという症状で気になる方は当院循環器内科の受診をお勧めいたします。

不整脈の最新治療

循環器内科医長 田中 麻里子



この度は地域の皆さまに多数お集まりいただき感謝申し上げます。一口で不整脈と言っても様々なものがあります。様子観察でよいもの、ペースメーカーが必要なもの、不整脈に対する内服薬で治療するもの、カテーテル治療が有効なものなど、治療方針も様々です。その中で心房細動という不整脈は多くの方に起こり、そして適切な治療を行うことが非常に重要な不整脈です。

動悸を感じる、脈拍がばらばらで気になる、などありましたら、かかりつけ医や当院循環器内科を受診ください。皆さまが胸の苦しさを感ぜず健やかに、ご自分らしい毎日を過ごせるようお手伝いできましたら幸いです。



次回予告

第14回 JCHO神戸中央病院 市民医療セミナー

テーマ 「脳の病気はこうして治す」

～脳卒中(くも膜下出血、脳出血、脳梗塞)、脳腫瘍、てんかんの最新治療～

日程 平成30年11月10日(土) 13時～

会場 すずらんホール(神戸市北区鈴蘭台北西町1丁目26-1)

担当 脳神経外科・神経内科





メデイカル ライン

《医療機関向け》

神経内科 医長 小別所 博



高齢者てんかん

てんかんといえば一般にこどもがけいれんする病気と考えられがちですが、実はてんかんは高齢者にも多い病気です。発症率は100人あたり1～2人といわれており、想像以上に多いと思います。こどものてんかんと違ってけいれんをとまなわず短い時間意識が途切れたり行動が停止するだけの発作のため、気付かれないまま正しく診断されず自動車事故の原因になったり、認知症と間違われたりします。カルバマゼピンをはじめとした抗てんかん薬の少量の内服で発作がおさまることが多く、正しく診断することが重要です。そのためには、まず高齢者てんかんを疑うことが大切です。患者さんもしくは患者さんの家族が「自動車事故を繰り返すようになった」、「急に認知症のような症状を認めるようになった」と訴えた場合に疑う必要があります。疑ったら神経内科に紹介ください。当科では頭部MRIや脳波といった検査を行います。検査以上にご家族からの病歴聴取を大切にしています。患者さん本人は発作中のことを覚えていませんので、発作時の患者さんの様子を実際に見ている家族から具体的な話を聞くことが診断のためには重要になります。ですから紹介いただく際にはご家族にも一緒に受診いただくようお願いします。



参考文献：患者と家族の体験談でわかる「高齢者てんかん」のすべて
久保田 有一

第10回 「JCHO神戸中央病院 医療連携セミナー」のご案内

「婦人科」と「腎臓・血液内科」の診療の現在

日時：平成30年10月25日（木）19時～20時45分

場所：当院 2階会議室



新任医師紹介



しんたに ゆか
新谷 友香：皮膚科

5月より赴任致しました。地域医療に貢献できるよう診察していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



なかしょう たかゆき
中正 貴之：脳神経外科

ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、よろしくお願い致します。



もりぬし たつお
森主 達夫：消化器内科
(特に消化管癌の内視鏡治療・ESD)

内視鏡診断、治療(特にESD)が専門です。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



みた まさき
三田 正樹：消化器内科(内視鏡診断・治療)

7月よりお世話になっております。少しでも地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

退任医師のお知らせ

脳神経外科：永井 利樹

皮膚科：山本 真希